**2017年 8 月改訂（新記載要領に基づく改訂　第3版）
*2014年 5 月 1 日改訂（第2版）
医療機器届出番号：14B1X00006000129

器 65 歯科用充填器
一般医療機器　歯科用マトリックスリテイナ　33204000

Gリング

【形状・構造及び原理等】

形状：

スタンダード	
ロング	

材質：ステンレス鋼

【使用目的又は効果】

マトリックスバンドを歯の所定の位置に保持するために用いる歯科用器具である。

【使用方法等】

コンポジタイトゴールド（製造販売届出番号14B1X00006000131）キットの構成品・補充品であり、Gマトリックスバンド（同14B1X00006000128）と併せて使用する。
また、本品の保持にはリング用フォーセップス（同14B1X00006000130）の使用を勧める。

＜コンポジタイトゴールドの使用方法＞

二級窩洞

1. 歯科用ラバーダムを装着する。
2. 通法に従い、窩洞形成を行う。
3. 部位に合わせ適切なGマトリックスバンド（別売り）を選択し、歯間に挿入する。（図1）
   注意：指でGマトリックスバンドの形を整え、凹縁を咬合側に向けて、頬又は舌側から挿入する。

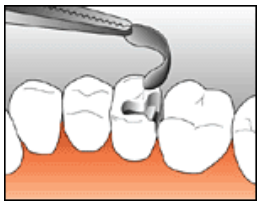
図 1

4. 鼓形空隙に歯科用マトリックスウェッジを挿入する。（図2）
   注意：高粘度のコンポジットレジンを窩洞に充填するとGマトリックスバンドがずれる可能性があるので、歯科用マトリックスウェッジでしっかり固定する。

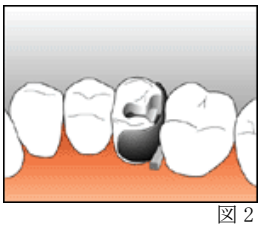
図 2

5. リング用フォーセップス（別売り）を用いGリングのリング部を拡げ、脚部をGマトリックスバンド（別売り）の外側に装着する。
   注意：通常は、Gリングの脚部を歯科用マトリックスウェッジの上に位置するように装着すると適当な歯間分離が得られる。（図3a）

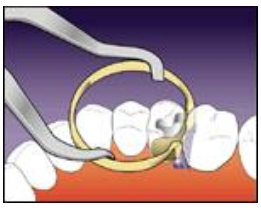
図 3a

   十分な歯間分離が必要な場合は、脚部をGマトリックスバンドと歯科用マトリックスウェッジの間に位置するように装着する。（図3b）

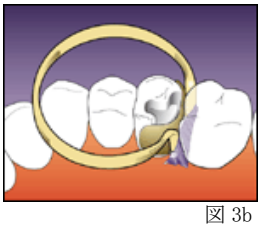
図 3b

   また窩洞が舌側又は頬側に向かって広い場合は、脚部を歯科用マトリックスウェッジの外側に位置するように装着するとよい。（図3c）

図 3c

6. Gマトリックスバンド（別売り）を隣接歯に押し当て、隙間のないように密接させる。
7. 通法に従い、歯面処理の後、コンポジットレジンを充填する。
8. Gリング、歯科用マトリックスウェッジ、Gマトリックスバンド（別売り）を外す。
   注意：Gマトリックスバンドは隣接面に密接しているため、外す際には適切なフォーセップス等を使用すること。
9. 通法に従い形態修正、研磨を行う。
10. Gマトリックスバンド（別売り）は使用後廃棄する。
    Gリング及びリング用フォーセップス（別売り）は使用後適切に洗浄、滅菌（高圧蒸気滅菌又は薬液滅菌）する。

文 2253-10129-03

MOD窩洞・複雑窩洞

1. 歯科用ラバーダムを装着する。
2. 通法に従い、窩洞形成を行う。
3. 部位に合わせ適切なGマトリックスバンド（別売り）を選択し、近心隣接面及び遠心隣接面より各1枚挿入する。
4. 鼓形空隙に歯科用マトリックスウェッジを挿入する。
5. リング用フォーセップス（別売り）を用いて、近心隣接面にスタンダードタイプのGリングを、続いて遠心隣接面にロングタイプのGリングを装着する。（図4）

図 4

6. Gマトリックスバンド（別売り）を隣接歯に押し当て、隙間のないように密接させる。
7. 通法に従い、歯面処理の後、コンポジットレジンを充填する。
8. Gリング、歯科用マトリックスウェッジ、Gマトリックスバンド（別売り）を外す。
9. 通法に従い形態修正、研磨を行う。
10. Gマトリックスバンド（別売り）は使用後廃棄する。
Gリング及びリング用フォーセップス（別売り）は使用後適切に洗浄、滅菌（高圧蒸気滅菌又は薬液滅菌）する。

注意：各項目（3、4、5、8）の注意は　二級窩洞　を参照のこと。
注意：隣接歯の隣接面にそれぞれ窩洞がある場合は、隣接接触を緊密にするため、まず一方の窩洞を充填・重合した後、それを基準にGマトリックスバンドを合わせ、他方の窩洞を充填する。（図 5）

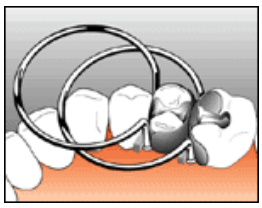

図 5

【使用上の注意】

・使用前に必ず製品の点検をし、破損、磨耗、腐食（錆）、変形、その他損傷等が確認された場合は使用しないこと。
・使用前に洗浄、消毒又は滅菌すること。滅菌する場合は高圧蒸気滅菌（各医療機関により検証され確証された滅菌条件による）又は薬液滅菌すること。
・作業開始前に必ず歯科用ラバーダムを装着すること。
・誤って口腔軟組織、皮膚、目等を傷つける事がないよう充分注意すること。
・破損等の原因となるため、強い衝撃を与えないように丁寧に取り扱うこと。
・腐食の原因となるため、血液、生理食塩水と長時間接触させたままにしないこと。
・長期の使用により金属疲労や磨耗等の劣化が生じるので、適宜交換すること。
・G マトリックスバンド（別売り）とリング用フォーセップス（別売り）の取扱いについては、コンポジタイトゴールド（別売り）又は各々の添付文書を参照すること。
・**【使用目的又は効果】**の項に記載の用途以外には使用しないこと。
・歯科医療有資格者以外は使用しないこと。
・廃棄の際は感染防止に留意し、関係法令及び各自治体の指導に従った安全な方法で適切に処理すること。

【保管方法及び有効期間等】

・水分、腐食性薬剤及びその蒸気の暴露を避けて、外圧（物理的負荷）及び汚染を受けない清潔な場所に保管すること。
・滅菌済みのものを貯蔵・保管する際、汚染を防ぐため清潔な場所に保管をするとともに、有効保管期間の管理をすること。
・「もらいさび」を防ぐため、錆びている器具と一緒に保管しないこと。
・接触腐食を防ぐため、材質の異なる金属製器具どうしは保管時に接触させないこと。
・歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理すること。

【保守・点検に係る事項】

・使用後洗浄または消毒する際は、感染予防のためゴム手袋、保護メガネ、マスク等を着用すること。
・機器に付着した血液、体液、組織、薬品、歯科材料等は、乾燥・固化する前に、流水による洗浄、洗浄液等への浸漬等により確実に除去すること。
・汚染除去に用いる洗剤は、洗浄方法に適したものを選択し、適正な濃度で使用すること。
・塩素系、ヨウ素系、強アルカリ性、強酸性の洗浄剤や消毒剤は、腐食の原因になるので使用を避けること。使用中に付着したときには水洗いすること。
・接触腐食を防ぐため、材質の異なる金属製器具どうしは洗浄時及び滅菌時に接触させないこと。
・金属たわし、クレンザー（磨き粉）等は、器具の表面を損傷し腐食の原因となるので使用しないこと。
・洗浄装置（超音波洗浄装置、ウォッシャーディスインフェクタ等）で洗浄する際、器具どうしが接触して損傷することがないよう注意をすること。
・洗剤の残留がないように充分にすすぎを行うこと。特に溝部分は念入りに洗うこと。仕上げすすぎには、浄化水（濾過、蒸留、脱イオン化等）を用いること。
・腐食、変色、シミ等を防ぐため、保管期間の長短にかかわらず洗浄した後は直ちに乾燥すること。
・滅菌は高圧蒸気滅菌又は薬液滅菌をすること。
・高圧蒸気滅菌のセットまたは包装は、関連器材の仕様を熟知して行うこと。
・完全に乾燥していることを確認してから保管（**【保管方法及び有効期間等】**参照）すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】＊　＊＊

製造販売業者：フィード株式会社
商品インフォメーションデスク
電話 0120-004-504

製造業者　：ギャリソンデンタルソルーションズ
（アメリカ合衆国）
(Garrison Dental Solutions)

文 2253-10129-03